

株式会社バイテックホールディングス



平成31年3月期 第1四半期
決算説明資料

【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	調達事業が伸長した結果、前年同期比108.5%を達成
経常利益	為替差損計上により、前年同期比53.7%
ROE	前年同期比では低下したが10%以上を維持

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前年同期比 増減率	2019年3月期 通期目標
売上高	41,125	44,614	8.5%	210,000
売上総利益	3,092	3,002	▲2.9%	—
営業利益	1,111	964	▲13.2%	4,100
(営業利益率)	(2.7%)	(2.2%)	—	(2.0%)
経常利益	1,044	561	▲46.3%	3,000
親会社株主に帰属する 四半期利益	659	402	▲38.9%	2,000
1株あたり四半期利益 (EPS)	46.90円	28.31円	—	140.50円
自己資本四半期利益率 (ROE)	16.8%	10.3%	—	—

※PL換算レート(円/米ドル):2018/3期1Q 111.61円、2019/3期1Q 108.71円

(参考)2019/3期 110円を想定

貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

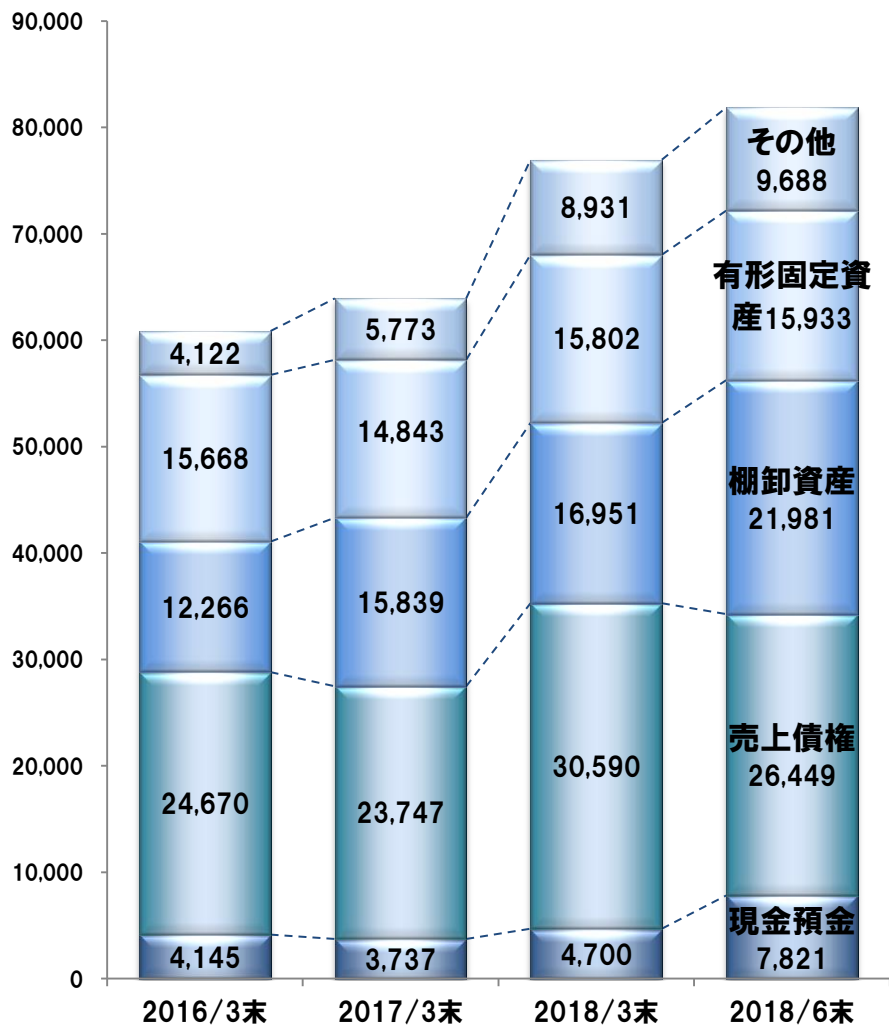
資産	現預金が31億、棚卸資産が50億増加、売上債権が41億減少
負債	調達事業拡大に伴う資金調達により借入金が34億増加
純資産	非支配株主持分の増加により純資産規模が拡大

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2018年6月末	対前期増減額
流動資産	42,173	45,435	55,532	59,924	4,392
固定資産	18,698	18,503	21,441	21,949	508
資産合計	60,871	63,939	76,974	81,874	4,900
流動負債	33,684	35,841	45,031	45,428	397
固定負債	13,821	12,965	15,635	18,303	2,668
負債合計	47,505	48,807	60,666	63,732	3,066
純資産合計	13,365	15,131	16,307	18,142	1,835
負債純資産合計	60,871	63,939	76,974	81,874	4,900
自己資本比率	21.8%	23.0%	20.6%	19.3%	—

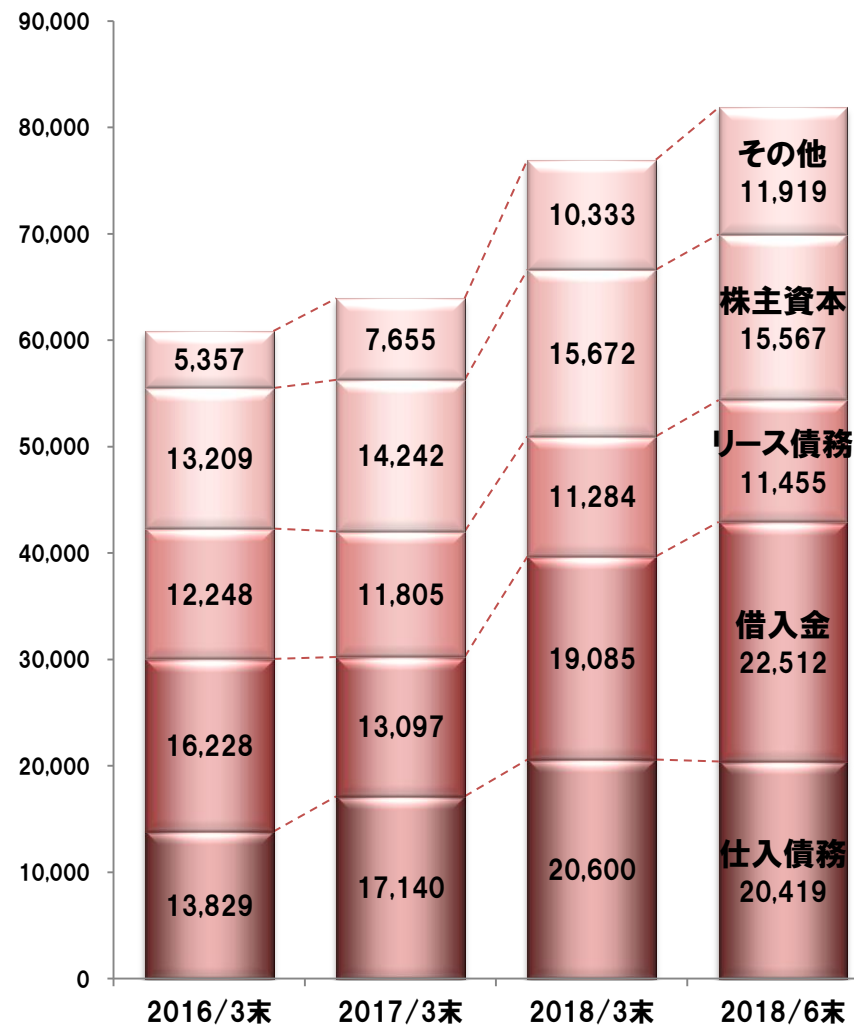
※BS換算レート(円/米ドル):2018/3月末 106.24円、2018/6月末 110.54円

(単位:百万円)

資産



負債・純資産



※借入金、リース債務は短期、長期の合計

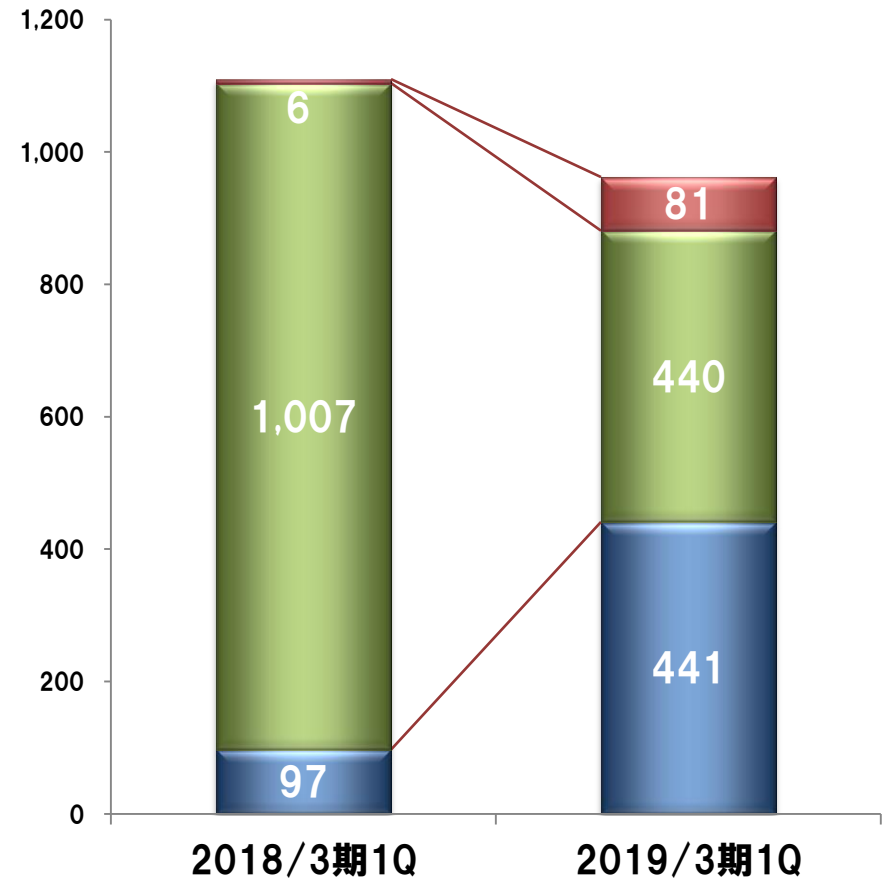
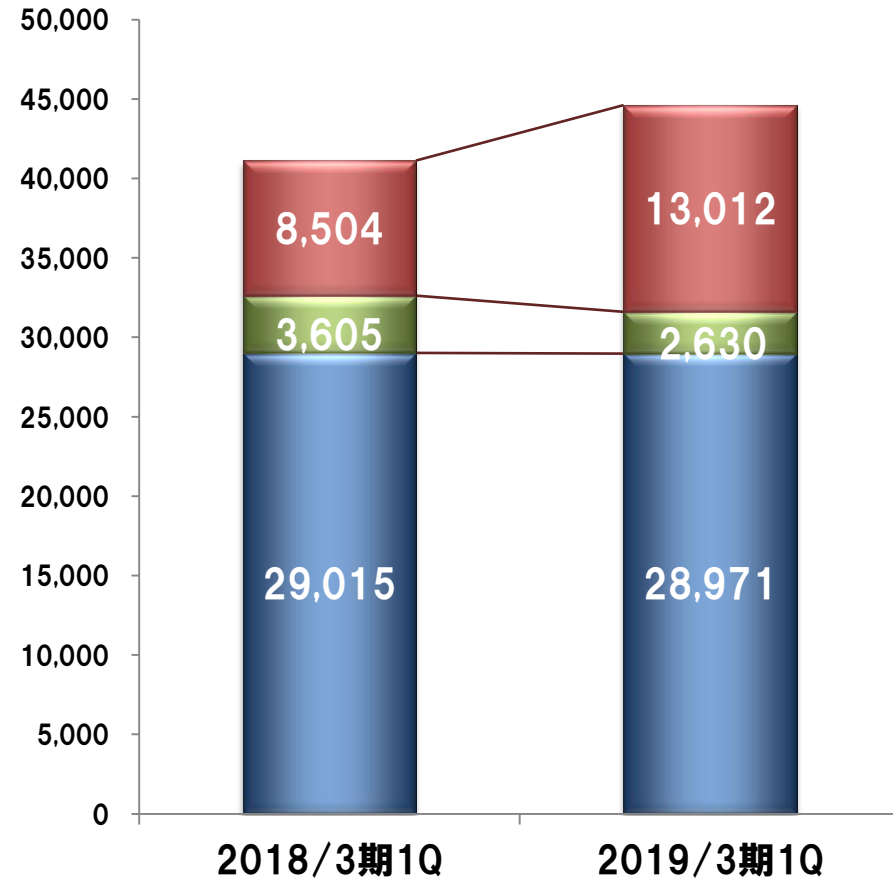
売上高

営業利益

(単位:百万円)

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達



【トピックス】

- デバイス : データセンター向けメモリ、MLCCの需要拡大
- 環境 : 売電小売、太陽光発電事業における売上は堅調
前年同期にパネル販売が集中した為、減収
- 調達 : パナソニックグループとの協業が拡大

【トピックス】

- デバイス事業では、収益性の改善及び構造改革等による販管費の圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期比454.4%と大きく改善
- 環境事業では、前年同期パネル販売が集中した為、減益

通期見通しに変更はございません

単位:億円

	1Q実績	2Q見通し	年間見通し	1Q進捗率 (対年間)
売上高	446	925	2,100	21%
営業利益	9.6	18.8	41.0	23%

売上・利益の牽引要因

車載向け半導体の拡大

調達事業の大幅伸長

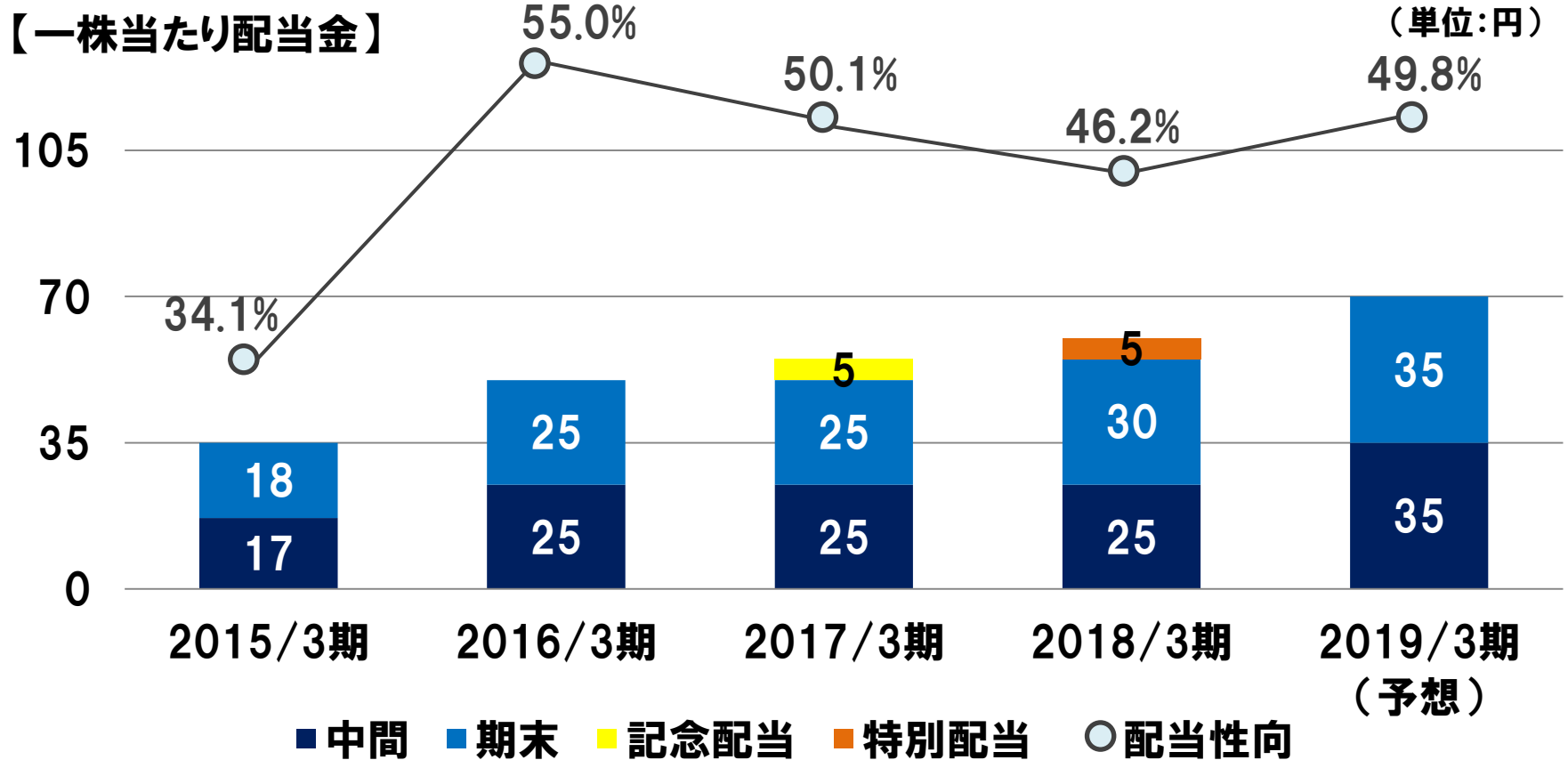
発電所の新設

植物工場事業の進展

パートナーとの共創

【配当に関する基本的方針】

- 株主の皆様への積極的かつ安定的な利益還元を経営の重要課題と位置づけています
- 連結配当性向50%を目標としています



各事業のトピックス

技術力強化に向けた資本業務提携

2018年7月

株式の相互持合い



IoT/loE

自動車・車載向け
組み込みソフトウェア

通信制御技術

半導体設計・テスト

セキュリティ



50%

回路設計

組み込み
ソフトウェア



ハイテクシステムエンジニアリング



50%

VSEへの出資

2018年9月(予定)

VSEを窓口としたPCIグループとの共創体制

多彩な技術サービス(仕入先機能の補完、顧客支援領域の拡大)
調達事業、環境エネルギー事業との連携

グローバルモビリティサービス(株)と資本業務提携 IoT・FinTechサービス ASEANにおける体制強化



バイテックグローバルエレクトロニクスによる資本参加 GMSが提供するIoT・FinTechサービス供給体制の強化



IoTモビリティデバイス・プラットフォームサービスの
グローバル供給



設置目標：**国内200MW**（現在：45ヵ所126.8MW）

ドラスティックな市場の変化

FIT価格下落

発電コスト低減



太陽光発電の新たな展開を加速

Step1

農地シェアリングの進展



Step2

脱FIT型ビジネスの検討



風力発電

市場の変化
FIT価格下落



Step1
太陽光+風力



Step2
大型風力への展開



バイオマス発電

循環型
バイオマスシステム
の確立

バイオマス発電





GAP普及推進機構/GLOBALG.A.P協議会 HPより



**大館工場、七尾工場の2工場でGGAP取得
他工場においても順次取得予定**

GLOBALG.A.P.認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランドです

2018年5月 石川県中能登工場 出荷開始 本年度中に第5工場(鹿角)稼働予定



大館工場

2016.5



鹿角工場

2018.秋以降



中能登工場

2018.5



七尾工場

2017.9

大規模工場
建設予定

日付 出荷開始

出荷地域

薩摩川内工場
2017.12



2017年3月期	4月	PTT パナソニックの資本参加 植物工場の竣工(秋田県大館市)
	10月	VISTEL (TEDとの技術合併会社) 事業開始 ViMOS (独FRAMOS社、台湾WPGグループとの合併会社) 設立合意
	2月	記念配当のお知らせ 菱熱工業との資本提携(第三者割当)
2018年3月期	5月	台湾WPG Holdingsとの資本提携(第三者割当)
	8月	六戸ソーラーパーク(特別高圧)運転開始 第2号植物工場(石川県七尾市)出荷式典
	10月	JIG-SAWグループとインダストリアルIoT分野で業務提携 当社グループ冠スポンサーによるデリシャススマイル杯開催のお知らせ
	1月	小型風力発電 1号機稼働(北海道天塩郡遠別町) 営農型太陽光発電所第1号機運転開始(バイテック登米太陽光発電所) 植物工場出荷式典開催(鹿児島県 薩摩川内工場)のお知らせ
	2月	特別配当の実施 新中期経営計画 植物工場事業の大展開
2019年3月期	6月	PCI ホールディングスとの資本業務提携並びにバイテックシステムエンジニアリングの株式譲渡に関するお知らせ
	7月	バイテックグローバルエレクトロニクスとグローバルモビリティサービス ASEANエリアでのサービス供給体制の強化に向け資本業務提携を締結
	7月	植物工場における国際認証GLOBAL G.A.P取得のお知らせ
	8月	植物工場出荷式典開催(石川県 中能登工場)のお知らせ

◇ 将来の見通しに関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。